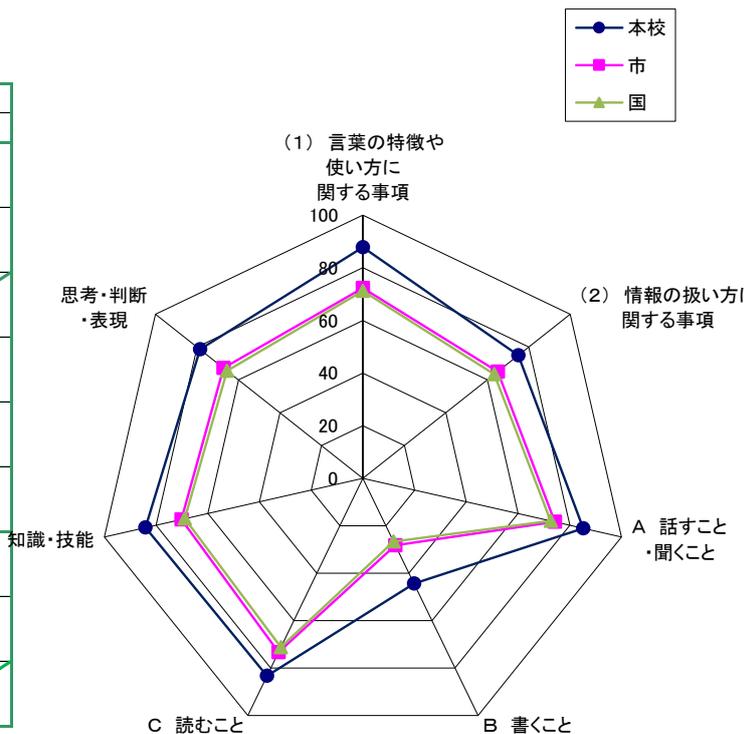


# 宇都宮市立清原北小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	87.8	72.3	71.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	75.0	65.0	63.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	85.2	74.2	72.6
	B 書くこと	44.4	28.2	26.7
	C 読むこと	83.3	73.3	71.2
観点	知識・技能	84.1	70.2	68.9
	思考・判断・表現	78.6	67.2	65.5
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、市より15.5ポイント、国より16.6ポイント高い。 ○文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる問題の正答率は、市や国の正答率より高い。	・漢字の学習については、引き続き、家庭学習等で取り組ませたり、確認テストを定期的に行ったりするなど、継続的に指導する。また、文章を書くときに、学習した漢字を使わせたり、作文指導の際に辞書を活用させたりする。
(2) 情報の扱い方に関する事項	平均正答率は、市より10ポイント、国より11.6ポイント高い。 ○原因と結果など情報と情報との関係について適切なものを選択する問題の正答率は、市より12ポイント、国より13.1ポイント高い。	・資料の内容を読み取って文章に適切に書き表す活動は、社会科や総合的な学習の時間など、他教科でも取り組み、定着を図る。また、読み手のことを意識しながら情報をまとめる力を伸ばすために、文章を互いに読み合う活動を継続して行う。
A 話すこと・聞くこと	平均正答率は、市より11ポイント、国より12.6ポイント高い。 ○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる問題の正答率は、市より13.9ポイント、国より14.9ポイント高い。	・授業や学級活動などでの話し合い活動を充実させ、相手の伝えたいことを捉えて相手の意見と自分の意見を比べながら聞いたり、話の展開に沿って自分の考えを述べたりできるようにする。 ・他の教科でも相手意識を大切に活動を持続的に進めていく。
B 書くこと	平均正答率は、市より16.2ポイント高く、国より17.7ポイント高い。 ○図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率は、市や国の正答率より15ポイント以上高い。	・引き続き、目的や意図に応じて図表やグラフを用いるなどして自分の考えを明確にして文章にする活動や、自分の考えが相手に伝わるような構成や文章表現を意識させるなどして、短文を書く活動に取り組ませる。
C 読むこと	平均正答率は、市より10ポイント、国より12.1ポイント高い。 ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付ける問題では、市より12.9ポイント、国より15.9ポイント高い。	・文章の内容を的確に捉えて読んだり、筆者の意図を考えながら読んだりできるよう指導する。また、内容や筆者の考えに対する自分の考えをまとめる活動を計画的に取り入れる。 ・引き続き、伝記や感想文、報告文など様々な目的で書かれた文章や、レポートやレシピ、メモなど様々な形態の文章などにも触れられるよう、読書活動の充実を図る。